

伊田幼稚園に手作りこいのぼりをプレゼント

こいのぼりのように元気よく

4月24日、伊田校区民生・児童委員の末広典亮さんと山本一紀さんが伊田幼稚園の園児たちに手作りのミニこいのぼりをプレゼントしました。

末広さんは、元中学校の美術教諭。赤・黒・白の色画用紙をたくみに使い、こいのぼりを表現。「みんな一緒に仲良く、元気に過ごしてほしい」という願いを込めて全園児41人に2人で手渡しました。

受け取った園児たちは、お礼に手話を交えてこいのぼりの歌を元気よく歌い、「大事にします」と大喜びしました。

成川敏子園長は、「幼稚園を大切に思ってくれてありがとうございます」と感謝の言葉を伝えていました。



▲手作りのこいのぼりを手に喜ぶ園児



▲きねが重くてむずかしいよ～

田川市手をつなぐ会ふきのとう

みんなでもちつき交流会

5月2日、田川市手をつなぐ会ふきのとう（「障害」児・者問題を考える会）が鎮西中学校でもちつき交流会を行いました。障害のある子どもや保護者、福岡県立大学・西田川高校・鎮西中学校の生徒など約150人が20kgのもち米をつき、きなこもちなどにして食べました。鍋山公一事務局長は「多くの人がかかわることで、子どもたちは『ふきのとう』の場で元気いっぱい過ごせています。これからも、力をあわせて取り組んでいきたい」と話していました。

参加した花田可奈子さん（福岡県立大4年）は、「子どもたちとの関係づくりが難しいが、笑顔を見るとやっつけて良かったと感じます」と交流会を楽しんでいました。

中元寺川リバースクール

みんなで川をきれいに

5月9日、中元寺川流域住民で作る後藤寺地区子どもの水辺協議会が、中元寺川リバースクールを開催し、弓削田小学校と後藤寺小学校の生徒約40人が参加しました。

このリバースクールは、子どもの頃から川に親しんでもらい、川をきれいにする気持ちを持ってもらいたいと企画。

前半は市体育指導員によるカヌー体験、後半は国土交通省遠賀川河川事務所による簡易キッドを使った水質検査を行いました。

協議会では水辺公園や釣り堀、散策道路などの整備を国土交通省遠賀川河川事務所に要望し、将来的には「子どもから大人までが集える憩いの場にしたい」と語っていました。



▲初めでのカヌーを体験